

進路通信 ホップ

琴海中学校進路指導部 NO2
令和4年4月11日(月)発行

進路係を担当する松尾俊幸です。本年度、長崎市立桜馬場中学校から異動してきました。教科担当は社会科です。校長をはじめ、他学年の職員の協力、力添えを得ながら、3学年職員が3年生全生徒86名の進路指導にあたっていきます。その窓口・取りまとめ役となります。

各担任は、自分のクラスの全生徒の進路についての考えや、支えとなる保護者の考えを個々にしっかりとつかみ指導をしていきます。1年間よろしく願いいたします。

今回の内容 「後輩への伝言」学習編

卒業生に公立高校入試が終わった後にそれぞれ記入してもらったものをまとめました。“後悔先にたたず”といえます。中学校生活最後の1年間をどう過ごしていくか、卒業生の声を参考に考えてみて下さい。

1. いつぐらいからどのように学習したらよいか

- 入試問題の6～7割は、1・2年生の範囲から出題されるので「3年生になってから」ではなく、「今のうち」から基礎固めをしておく和后々楽になる。
- 3年生の始めからしたほうがよい。受験勉強をあとへ先延ばしにするとあせってしまう。
- 3年生の1学期は1・2年生の苦手を復習し、夏休みは今までの総復習。2学期からは過去問を解いて入試問題になれていき、3学期は最終確認。
- 部活をしている人も、していない人も3年生の始めから机に向かう習慣をつけておいた方がよい。
- 夏休みは1日に3～4時間ぐらいは絶対にしておいた方がよい。
- 自分は3年生の4月頃から1・2年生の復習を約3時間していた。夏休みは5～7時間やった。

2. 学習方法で工夫した点や成功例

- 分からない問題は答えの説明を見ながら解いてみて、別の日とかに自分でまた解いてみる。
- 友だちと放課後に教えてもらいながら復習したら覚えることができた。
- 何分勉強したら何分休憩というふうに決めて取り組むと集中力がついた。
- 朝は数学、昼は過去問、夜は社会や理科の暗記というように、1日に流れを決めて取り組むとよい。
- 同じ問題集を最低3回解いて、その中の何が出ても解けるようにする。
- ワークなどを解くだけでなく、理解できていないところを自分でわかりやすくノートにまとめる。
- 寝る前に暗記系の勉強をする。同じ問題集を何回も解く。数学は間違ったらできるまでやる。
- 分からないところは先生や友だちに教えてもらい、自分のことばで訂正を行う。
- 過去問を解くときは時間を設定して解く。

3. 学習がうまく進まない原因、やってはいけないこと、失敗例

- 側に勉強の妨げになるもの(携帯、ゲーム等)を置かない。
- 音楽を聴きながら勉強をしない。
- 夜更かし。徹夜したりすると逆に頭に入らない。睡眠により記憶を整理するそうです。
- 机の周りにものを置かない。集中が切れたときに記憶が散漫してしまう。
- 分からないところをそのままにすること。
- 「明日からやればいい」と思っているもやらないことの方が多いため、今日しっかりとやる。

努力が結果にあらわれるには、最低100日かかると言われます。今日は4月11日(月)、100日後は7月19日(火)。この日は1学期の終業式の前日です。今日から、今からスタートしましょう。本気になれば、「たいていなことができる」「世界が変わる」「自分が変わる」。このことばを実感してほしいと思います。